

流行りの「見える化」でビジネスはどう変わるのか(第3回)

事例で見る、AIによる「見える化」で仕事を効率化する方法

2022.02.14



労働環境を改善する際は、まず業務にどのような問題点があるかを知り、業務を「見える化」することが大切です。今回はAIとPCの操作ログを基に業務を見える化した事例を紹介します。

中小企業も社会の変化について行かなければいけない

ビジネスを取り巻く環境は、大企業はもちろん、中小企業においても、日々目まぐるしく変化しています。

例えば2020年4月からは、中小企業にも時間外労働の上限が導入されるようになりました。時間外労働の上限は、原則として月45時間、年360時間と規定されており、当然中小企業も、このルールを順守しながら仕事を行う必要があります。

もし、こうしたルールの変化に対応できていない場合、従業員の離職率が増加したり、企業のイメージダウンにもつながったりするのが予想されます。こういった事態を防ぐためにも、企業は日常的に業務改善を積み重ね、ルールが順守できるよう努力を続けることが、人材獲得や事業継続において非常に重要だといえるでしょう。

勘や経験に頼らず、業務を分析するにはどうすればよいのか… 続きを読む